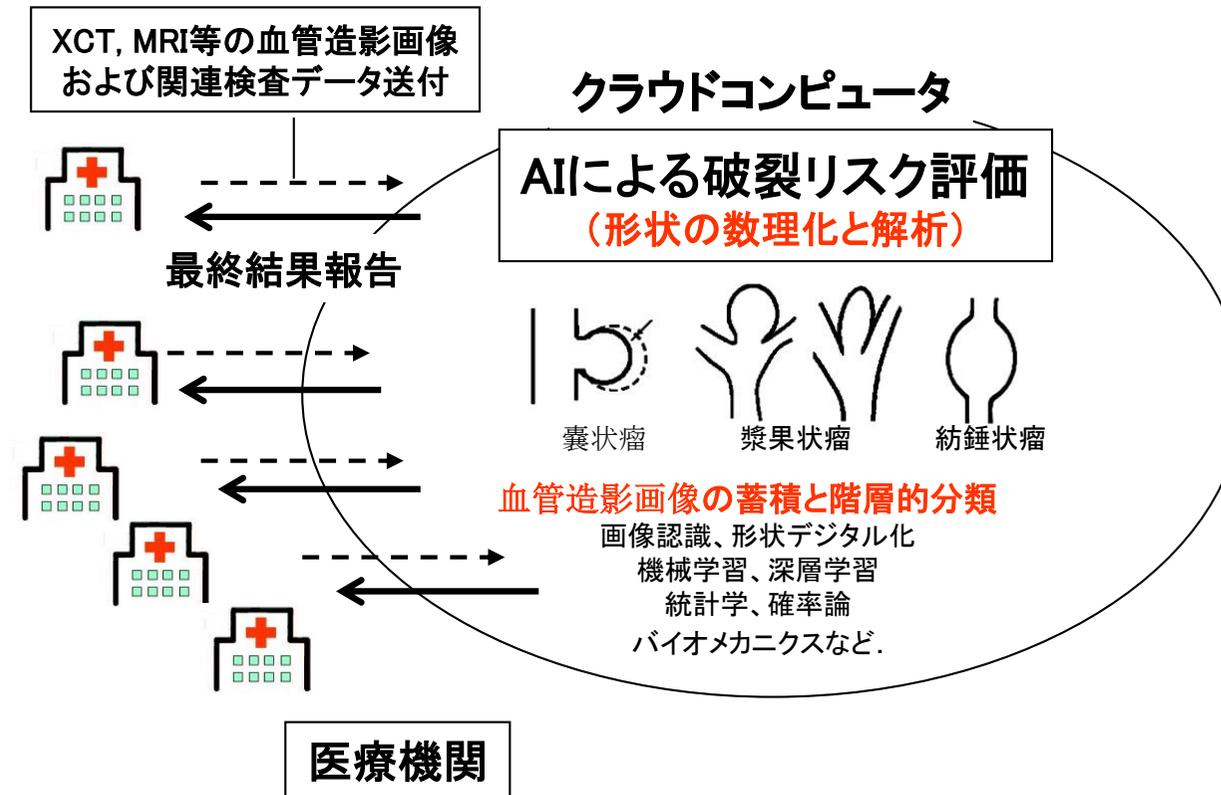


動脈瘤の破裂リスクをAIで診断支援する技術

血管瘤の破裂リスク評価方法、評価装置およびプログラム
特許第 6774520号



日本脳神経外科学会のガイドライン(UCAS Japan)では、画像で見つかった瘤の大きさで区分、その後の定期検査で大きくなる速度を監視しながら診断しています

UCAS Japan: Unruptured Cerebral Aneurysm Study of Japan
未破裂脳動脈に関する研究

— (社)日本脳神経外科学会主催研究(UCAS Japan)成果について—

はじめに <http://jns.umin.ac.jp/member/UCAS/ucas.html>

危険なクモ膜下出血の原因となる未破裂脳動脈瘤の自然経過について、一般社団法人日本脳神経外科学会(以下本学会)は、2001年から学会を挙げて全国規模の前向き観察研究(UCAS Japan)を行ってまいりましたが、今般、その研究結果が国際的に影響力の大きいNew England Journal of Medicine誌に掲載されました。クモ膜下出血の予防に重要な事項ですので、本学会として一般の方々のためにわかりやすいように以下の解説を作成いたしました。関心をお持ちの皆様には、ぜひご一読ください。今回発表された研究へのご質問や、これに関連するお問い合わせは、本学会広報委員会(jns@jnss.or.jp)までお願いいたします(個別の事例や医療相談に類するご質問にはお答えいたしかねますので、あらかじめご承知おきください)。

UCAS Japan(日本未破裂脳動脈瘤悉皆(しっかい)調査)とは

本学会は、わが国での治療例、非治療例を含めた全ての未破裂脳動脈瘤を調査してその自然歴(特別な治療をしなければどうなるのか)、および治療に関するデータを集め、未破裂脳動脈瘤の適切な治療指針を立てるための基礎にしたいと考え、2001年1月より未破裂脳動脈瘤悉皆調査を行いました。悉皆調査とは、すべての例を悉(ことごと)く集めて調査することで、この臨床研究のことを **Unruptured Cerebral Aneurysm Study of Japan**の頭文字を取ってUCAS Japanと呼んでいます。